

ばにばにきょうだいの はなし



ペアトリクス・ポッター さく・え

おおくぼ ゆう やく

ばにばにきょうだいのはなし



ベアトリクス・ポッター さく・え
おおくぼゆう やく



マGregarさんと ピーターと ベンジャミンの ちいさな おともだち みんなへ



なんでも レタスを たべすぎると “さいみんこうか”が あるそうです。
わたしは レタスを たべても ねむくなんか ありませんが、 そうはいつでも
わたしは あなうさぎでは ありません。
さいみんこうかが てきめんだったのは、 なによりも ばにばにきょうだいの
ことなのです！



おとなに なった ばにばにベンジャミンは いとこの フロプシーと むすばれました。 だいかぞくを つくったこともあって、 せいかつは かつかつでしたが とても にぎやかでした。

こどもたちの それぞれの なまえは わすれてしまいましたが、 まとめて フロプシーさんとこの ばにばにきょうだいと よばれています。



いつも まんぞくに たべられたわけでは ありませんので ーー ベンジャミン は はたけを もっている フロプシーの おにいさん、 あなうさピーターのところへ いったは、 よく キャベツを いただいていたものです。



たまに あなうさピーターのところにも わける キャベツの ないことが ありました。



そういうときには ばにばにきょうだいが のはらを こえて、 マグレガーおじさんの おにわの うらにある おほりの なかの ごみやまへと むかいます。

マグレガーおじさんの ごみやまは ごちゃまぜに なっていて、 ジャムのびんが あったり かみぶくろが あったり、 はたまた しばかりきに かられた くさのかたまり (これは いつも べとべとで)、 それから くさった ペポカボチャが ころころ、 はきふるしの ブーツが ひとつふたつ。 ところがあるひ —— なんということでしょう! —— そだちすぎて はなまで さかせてしまった レタスが まとまったかず みつかったのです。



ばにばにきょうだいは それはもう レタスを たらふく たべました。すると
じゅんじゅんに 1ぴきまた1ぴきと ねむけに まけて、 からのした しばのう
えに そのまま たおれていきます。



ベンジャミンは こどもたちほど やすやすと まけはせずに、 おちてしまうまえ あたまに かみぶくろをかぶってはえよけにするくらいには めをあけてもちこたえていました。



ばにばにきょうだいは あたたかい ひざしのもと すやすやと ねむっています。
おにわの むこうの しばちからは とおく しばかりきの カタカタという
おとが きこえてきます。 おほりの へりのあたりで あおばえが ぶんぶん い
ったり、 1ぴきの ちいさな おばさんねずみが ジャムのびん ふきんの ごみ
を あさったり していました。

(わたしには なまえも わかりますよ、 おねずみトマシーナ、 おっぽの なが
い もりねずみです。)



そのねずみさんが かみぶくろのうえを はしったので、 ばにはにベンジャミンが めを さました。 ねずみさんは ふかく おわびして、 じぶんは あなうさピーターの しりあいだと つげます。



ねずみと ベンジャミンが へりのすぐしたあたりで シャベっていると、 あたまのうえから ずっしりした あしおとが きこえてきました。 するとふいに マグレガーおじさんが かりとった しばを どっさりと、 ねむっている ばにはばにきょうだいの まうえに あけだしたのです！ ベンジャミンは かみぶくろにかくれて ちぢみあがりました。 ねずみさんは ジャムのびんに みを かくしました。



こうさぎたちは くさの ふりそそぐなか きもちよさそうに にやにやと おやすみしています。 レタスの さいみんこうかが つよかったので、 めざめることは ありません。

みんな ゆめのなかで、 ママの フロプシーに ほしぐさの ベッドへ おしこまれているのです。

マグレガーおじさんは ふくろのなかを みんな ぶちまけたあと、 したを のぞきこみました。 すると おもしろいことに くさのやまから ぴよこんと ちゃいろい こみみのさきが とびだしているのが みえるのです。 しばらく じろりと ねめつけました。

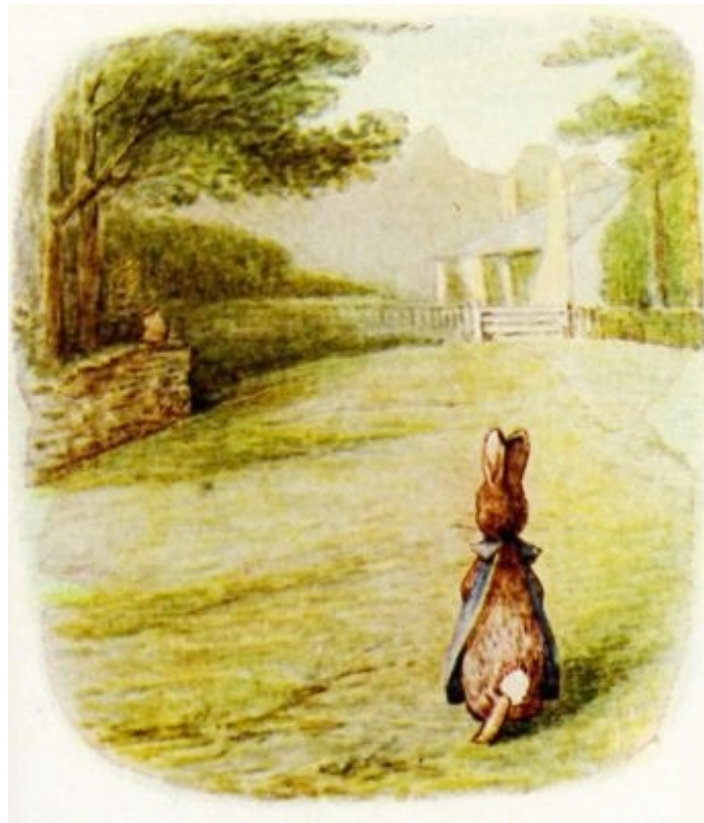


やがて そのひとつに はえが とまると みみが ぴくりとしました。
マグレガーおじさんは ごみのやままで よじおりて ——
「ひい、 ふう、 みい、 よお！ いつ！ むうも こうさぎ！」と いいながら
、 つかんで ふくろのなかへ いれていきます。 ばにばにきょうだいの ゆめの
なかでは ママに ベッドのうえで ねがえりを うたされたことになっ
ていま した。 ねむっている あいだに ちょっとくらい じゃまが あっても、 やっぱ
り めは さめないのです。



マグレガーおじさんは ふくろを しばると、 おほりのうえに おいて そのば
を はなれました。

しばかりきを かたづけに いったのです。



そのあいだに（おうちで るすばんを していた） ママの ばにばにフロプシーが のはらを ぬけて やってきました。

ふしぎそうに ふくろを ながめて、 みんな どこへ いったんだろうと おもいました。



すると ねずみさんが ジャムのびんから でてきて、 ベンジャミンも かぶっていた かみぶくろを はずして、 ふたりして なげかわしい いちぶしじゅうをかたります。

ベンジャミンと フロプシーには どうすることも できません。 ひもを ほどこうにも むりなのです。

けれども おねずみおばさんは あたまの はたらく かたでした。 ぶくろのそこを かじって あなを あけたのです。



こうさぎたちは ひきずりだされ、 たたきおこされました。
パパと ママは からのふくろに くさった ペポカボチャ みつと つかいふるしの くつブラシを ひとつ、 いたんだ カブを ふたつ つめこみます。



そして みんなして しげみに かくれ、 マグレガーおじさんが くるのを まちうけました。



マグレガーおじさんは もどってくると ふくろを とりあげて もちさります。
そうとう おもたいのか てから ぶらんぶらん。
ばにばにきょうだいは うまく あいだをとって あとを おいかけます。



おうちに はいっていくのが みえました。

それから まどに にじりよって ききみみを たてます。



マグレガーおじさんは いしじきの ゆかに ふくろを なげおろしました。あれでは ばにばにきょうだいが はいっていようものなら おおけがしていたでしょう。

きこえてくるのは ゆかのうえに いすを ひきずる おとと ほくそえむ こえ
――

「ひい、ふう、みい、よお、いつ、むうも こうさぎ！」と マグレガーおじさん。



「なに、 どうしたのさ？ なんだって そんなに うかれてんだい？」と マグレガーおばさんが たずねました。

「ひい、 ふう、 みい、 よお、 いつ、 むうも ぷりぷり こうさぎよ！」と マグレガーおじさんは ゆびおりしながら くりかえします。 「ひい、 ふう、 みい ー」

「ばかは およしよ。 なんの つもりだい、 いかれ じいさんや。」

「ふくろんなかよ！ ひい、 ふう、 みい、 よお、 いつ、 むう！」と こたえる マグレガーおじさん。

(そのとき、 ばにばにきょうだいの すえっこが まどの したわくに あがりました。)



マグレガーおばさんは ふくろを つかんで さわってみたのですが、 どうも たしかに 6ぴき いるけれども、 よぼよぼの うさぎじゃないのか、 ちかちかで みんな かたちが ふぞろいだよと います。

「たべるにや むかないね。 でも けがわは あたしの おふるの コートの うらじに するにやあ もってこいかも。」

「コートの うらじだと？」と マグレガーおじさんは こえを はりあげます。

「こいつは うっぱらって わしの たばこだいに するんよ。」

「うさぎたばこに おし！ さて、 けがわを はいで くびを もぐと するかね。」



マグレガーおばさんが ふくろの ひもを ほどいて てを なかに いれます。
じぶんの さわっているのが やさいと わかると、 ぶんすかと おこりだしま
した。 マグレガーおじさんに 「わざと やったのか」とまで いうのです。



すると マグレガーおじさんも ぷんすか。 くさった ペポカボチャが ひとつ
ちゅうを とんで、 だいどころの まどの ところを ぬけ、 ばにばにきょう
だいの すえっこに ぶちあたりました。
いたいの なんの。



そこで ベンジャミンと フロプシーは もう うちに かえったほうが いいと おもいました。



こうして マグレガーおじさんは たばこが てに はいらず、 マグレガーおば
さんも うさぎの けがわを てに いれそこないました。

けれども つぎの クリスマス、 おねずみトマシーナは うさぎの けいとを
もらいました。 しかも じぶんの コートや ずきん、 おしゃれな マフや あ
たたかい てぶくろを みんな つくれるくらい たくさん。

(おしまい)

Original Text: *The Tale of Flopsy Bunnies* (1909)

Original Author: Beatrix Potter (1866-1943)

ばにばにきょうだいのはなし

<http://p.booklog.jp/book/32115>

著者：ベアトリクス・ポッター

訳者：大久保ゆう

発行：Alz

発行元情報：<http://p.booklog.jp/users/alz/profile>

※この翻訳は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」
(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>) によって公開されています。
上記のライセンスに従って、訳者に断りなく自由に利用・複製・再配布することができます。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/32115>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/32115>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.